

令和2年度

「教育に関する事務の管理及び執行状況の 点検・評価」実施報告書

地方教育費行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）第26条に規定する教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価については、地方自治法第233条第5項に規定する主要な施策の成果を説明する書類（決算主要事業）の作成、議会への提出及び公表を行うことをもって、法第26条第1項の義務を充足しています。

令和3年9月

浪江町教育委員会

令和2年度

主要な施策の成果

福島県 浪江町

3. 民 生 費

◆ひとり親家庭等特別給付金給付事業（新規）

（教育委員会事務局）

科目 3 - 2 - 1（決算書 1 2 1 頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
2,554,758	2,500,000		54,758

新型コロナウイルス感染症による学校等の臨時休業、事業所の休業などにより経済的な影響を特に受けやすいひとり親家庭等の生活を支援するため、特別給付金を支給した。

○支給額 一世帯 2 万円

○支給件数 126 件

◆児童手当

（教育委員会事務局）

科目 3 - 2 - 2（決算書 1 2 1 頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
197,250,000	166,855,498		30,394,502

中学校修了前児童を養育している方に、家庭における生活の安定と次代を担う児童の健全な育成を図るため支給した。

○対象児童数 1,465 名

◆子ども医療費助成事業

(教育委員会事務局)

科目 3 - 2 - 3 (決算書 1 2 3 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
9,675,244	4,926,947		4,748,297

18歳までの子どもを養育している方に、子どもの疾病又は負傷の治癒を促進し健康の保持増進を図るため助成を行った。

○受給者数

・未就学児	512名	助成件数	2,603件
・小学1年生から3年生	238名	助成件数	779件
・小学4年生から18歳	662名	助成件数	1,931件

◆屋内アスレチック施設整備事業（震災関連事業）

（教育委員会事務局）

科目 3 - 2 - 4（決算書 1 2 3 頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
295,920,212	147,960,000		147,960,212

平成 29 年度の浪江町健康関連施設整備検討委員会からの提言をもとに、旧ふれあいセンターなみえ周辺施設の整備に向け、屋内遊び場施設整備を実施した。

- ・場 所 浪江町大字権現堂字矢沢町地内
- ・構 造 木造 1 階建て
- ・面 積 979 m²
- ・施設内容 ふわふわドーム、複合遊具等のプレイスペース
乳幼児向けのベビーコーナー
ボルダリングスペース 等

○事業費内訳 (円)

件 名	決算額
屋内アスレチック施設建築工事監理業務委託料	3,230,000
工事請負費	292,690,212
・既存工作物等撤去工事	5,370,212
・屋内アスレチック施設建築工事（建築・機械設備・電気設備）	287,320,000
合 計	295,920,212

○R2 繰越明許費

件 名	繰越額
屋内アスレチック施設建築工事監理業務委託料	9,453,000
屋内アスレチック施設建築工事（建築・機械設備・電気設備）	472,743,000
合 計	482,196,000

◆保育料助成事業

(教育委員会事務局)

科目 3 - 2 - 4 (決算書 1 2 3 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
7,510,344		2,000,000	5,510,344

原発事故の避難により、児童が他自治体の保育所等に入所した際の保育料を助成した。

○対象児童

- ・ 県内 57 名
- ・ 県外 4 名

◆出産祝い金支給事業

(教育委員会事務局)

科目 3 - 2 - 4 (決算書 1 2 3 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
3,400,000			3,400,000

次代を担う児童の健全な育成を図ることを目的に出産祝い金(第3子以降)を支給した。

○支給件数 17 件

◆子育て世帯への臨時特別給付金給付事業(新規)

(教育委員会事務局)

科目 3 - 2 - 6 (決算書 1 2 7 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
17,081,732	17,081,732		

小学校等の臨時休業等により新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯を支援するため、児童手当受給世帯に臨時・特別の給付金を支給した。

○支給額 対象児童一人につき 1 万円

○支給件数 962 件

○支給対象児童数 1,649 名

4. 衛生費

◆母子保健事業

(健康保険課・教育委員会事務局)

科目 4 - 1 - 4 (決算書 135頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
12,626,873	3,514,657		9,112,216

県内においては乳児訪問を行い、乳児の発達確認や母親の健康状態の把握、育児相談等を行った。また、各種乳幼児健康診査の受診確認を行い、未受診児への受診勧奨に努めた。さらに、養育のため指定医療機関に入院することを必要とする未熟児に対し、医療費給付を行った。

○実施状況

(単位：人)

事業名	対象者	受診者数
乳児家庭訪問	生後 1 か月～2 か月児	53
乳幼児健診	3 か月～12 か月児	117
1 歳 8 か月健診	1 歳 8 か月～1 歳 10 か月児	60
3 歳 6 か月健診	3 歳 6 か月児	87
乳幼児家庭訪問(健診事後)	生後 3 か月～就学前	21
妊婦健康相談 (母子手帳交付)	妊婦	74
妊婦健診 (前期)	妊婦	72
〃 (後期)	妊婦	66
未熟児療育医療給付	未熟児	2
計		552

◆遠距離通学費助成事業

(教育委員会事務局)

科目 10-2-2、10-3-2 (決算書197・199頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
50,000			50,000

遠距離通学の児童及び生徒の保護者に通学費を援助し、経済的負担の軽減を図った。

なお、避難先自治体にて通学費の援助を実施している場合は、避難先自治体での援助を優先させた。

○助成実績

- ・小学校(4 km以上) 1名 10,000円(県外0名)
- ・中学校(6 km以上) 4名 40,000円(県外0名)

◆就学援助事業 (震災関連事業)

(教育委員会事務局)

科目 10-2-2、10-3-2 (決算書197・199頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
17,875,269	17,784,747		90,522

東日本大震災の影響により、経済的に就学困難となった児童及び生徒の保護者に対し、就学に必要な学用品・給食費にかかる経費の一部援助を行い、経済的負担の軽減を図った。なお、避難先自治体にて就学援助を実施している場合は、避難先自治体での就学援助を優先させた。

○援助の状況

(単位：人)

援助人数	小学校	中学校	計
		162	68
うち福島県内	143	49	192
うち福島県外	19	19	38

○事業費内訳 (円)

件名	決算額
復興まちづくり支援施設整備工事監理委託料	5,210,000
ふれあいセンターなみえ運動公園グラウンド整備 実施設計業務委託料	495,000
工事請負費	247,280,922
・既存工作物等撤去工事	36,960,922
・まちづくり支援施設改修工事（建築・機械設備・電気設備）	210,320,000
合計	252,985,922

○R2 繰越明許費 (円)

件名	繰越額
復興まちづくり支援施設整備工事監理委託料	13,678,000
まちづくり支援施設改修工事（建築・機械設備・電気設備）	467,829,000
合計（繰越明許費）	481,507,000

◆郷土芸能復興支援事業（震災関連事業）

（教育委員会事務局）

科目 10 - 5 - 2（決算書201頁）

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
340,726			340,726

東日本大震災の影響により郷土芸能の継承が困難になっているため、各地区の芸能保存会に対し、用具の新調・修理や交通費等の経費の補助を行った。また活動が困難な団体については、用具類を預かり保管を実施した。

○本事業における補助採択芸能の団体・種別 3団体3種

- ・中島郷土芸能保存会（剣舞）
- ・川添芸能保存会（神楽）
- ・浦安の舞芸能保存会（浦安の舞）

◆埋蔵文化財発掘調査事業（震災関連事業）

（教育委員会事務局）

科目 10 - 5 - 2（決算書201頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
226,314,000	169,735,000		56,579,000

浪江町内の復興に向けた環境整備を行うにあたり、埋蔵文化財の試掘及び本発掘調査を実施し、埋蔵文化財の保護と開発事業の両立を図った。

○主な調査実績

- ・試掘調査 棚塩字植松地内(植松遺跡) 31,636,000 円
- ・本発掘調査 北幾世橋植畑地内(植畑地内) 194,678,000 円

◆震災遺構整備事業（震災関連事業）

（教育委員会事務局）

科目 10 - 5 - 5（決算書203頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
317,020,000		317,020,000	

令和元年度に作成した基本・実施設計に基づき、請戸小学校の一般公開へ向けた保存・整備工事を実施した。

- 震災遺構整備工事 297,000,000 円
- 震災遺構整備工事監理業務委託 20,020,000 円

◆文化財収蔵事業（震災関連事業）

（教育委員会事務局）

科目 10 - 5 - 5（決算書203頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
3,300,000			3,300,000

発掘した埋蔵文化財や、家屋解体に伴い寄託された文化財や古民具、町で保有しているものなどを収蔵するための収蔵施設整備に向けての調査業務を行った。

○地域資料等収蔵施設調査検討業務委託 3,300,000 円

◆生涯学習推進事業

（教育委員会事務局）

科目 10 - 5 - 6（決算書203頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
25,000			25,000

あつまっぺ交流館（福島市）や町内施設において、専門講師によるハワイアンキルト教室及び絵手紙教室などの町民向けの生涯学習出前講座を開催した。

講習名	実施回数	開催日	参加者総数
ハワイアンキルト教室	2回	6月22日、11月9日	21名
絵手紙教室	2回	9月11日、2月12日	28名
オリジナルエコバッグ作り教室	1回	10月19日	11名

◆浪江町地域スポーツセンター運営事業

(教育委員会事務局)

科目 10 - 6 - 2 (決算書205頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
35,056,660		336,400	34,720,260

町民の健康の増進と地域コミュニティの創出の場所として、施設の維持管理及び運営を行った。

○令和2年度 利用状況一覧

	上半期 (4月～9月)	下半期 (10月～3月)	合計
稼働日数	130日	175日	305日
会議室	90件	144件	234件
サブアリーナ	63件	103件	166件
メインアリーナ	102件	138件	240件
トレーニング ルーム	2,245人	3,343人	5,588人

◆保健体育事業

(教育委員会事務局)

科目 10 - 6 - 1、10 - 6 - 4 (決算書205頁、209頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
2,999,015	371,000		2,628,015

野球、ソフトボール、駅伝といった県内の各種市町村対抗の大会へ出場する選手へのサポートを実施した。

また、東京2020オリンピック開催に向けた、聖火リレーを町内で実施した。

○市町村対抗等町外大会参加状況

大会名	大会日	場所	参加者	備考
双葉郡スポーツ交流大会	6月28日	広野中学校 他	8 町村	新型コロナウイルス感染症拡大のため開催中止
県民スポーツ相双大会	9月上旬	相馬光陽ソフトボール場 他	12 市町村	新型コロナウイルス感染症拡大のため開催中止
市町村対抗福島県軟式野球大会	9月19日	小野あぶくま球場	59 市町村	対会津坂下町 ● (3-7)
市町村対抗福島県ソフトボール大会	10月17日	相馬光陽ソフトボール場	48 市町村	1 回戦 対古殿町 ○ (8-8) ※くじ引きにて勝利
				2 回戦 対楢葉町 ● (2-12)
ふくしま駅伝	11月15日	郡山ヒロセ開成山陸上競技場(郡山市)から福島県庁前(福島市)まで	50 チーム	全体 26 位 町の部 10 位 (町の部入賞)

○聖火リレー

名称	日時	場所	走者	備考
東京2020オリンピック聖火リレー	3月25日	旧浪江小学校から道の駅なみえまで	3名	

12. 特別会計の状況

文化及びスポーツ振興育成事業特別会計(教育委員会事務局)

(決算書216頁)

令和2年度文化及びスポーツ振興育成事業特別会計決算額は、歳入1,475,000円、歳出1,041,000円で、前年度と比較して、歳入が199,866円(△11.9%)の減額、歳出が198,866円(△16.0%)の減額となった。歳出の主なものは負担金補助及び交付金175,000円(前年度645,000円)で、前年度と比較して470,000円(△72.9%)の減額となった。

○歳入歳出の状況

【歳入】

(単位：円、%)

区 分	令和2年度 A	令和元年度 B	増 減 A-B	増減率
利 子	0	4,866	△4,866	皆減
文化及びスポーツ振興基金 繰 入 金	1,040,000	1,040,000	0	-
繰 越 金	435,000	620,000	△185,000	△29.8
寄 附 金	0	10,000	△10,000	皆減
歳 入 合 計	1,475,000	1,674,866	△199,866	△11.9

【歳出】

(単位：円、%)

区 分	令和2年度 A	令和元年度 B	増 減 A-B	増減率
交 際 費	0	0	0	-
需 用 費	0	0	0	-
負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	175,000	645,000	△470,000	△72.9
積 立 金	866,000	594,866	271,134	45.6
予 備 費	0	0	0	-
歳 出 合 計	1,041,000	1,239,866	△198,866	△16.0

◆文化及びスポーツ振興育成事業助成金

科目 2 - 1 - 1 (決算書 218 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳(円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
175,000		175,000	

浪江町文化及びスポーツ振興基金を活用し、町の文化及びスポーツ活動の振興と育成を図るため活動団体等へ助成金を交付した。

○助成内容

(単位:件、円)

区 分	事 業 名	件数	助成額
スポーツ事業	国際大会	0	0
	全国大会	4	80,000
	東北大会	1	5,000
	スポーツ大会開催事業	3	90,000
文化事業	成果発表事業	0	0
計		8	175,000